

第3回米百俵賞受賞

(平成11年6月15日表彰)

新潟国際ボランティアセンター

(新潟市)



ベトナムにおける小学校建設とその運営支援をはじめとする様々なボランティア活動を実施し、国際協力・国際交流に貢献した。

■受賞時プロフィール

新潟国際ボランティアセンターは、非営利の国際民間団体として地域社会における国際理解、人材教育、コミュニティづくりに寄与することを目的に平成2年に設立された。

そのきっかけとなったのは、平成元年に日本国際ボランティアセンターの事務局長による新潟大学での講義であった。その内容は、ラオスの乳幼児の死亡率低下のため、農村生活改善普及員の養成を行っていることなどについてであった。講義の後、新潟大学法学部の学生たちが中心となって、このプロジェクトに資金援助をしようとバザーを行い、売り上げは200万円を超えた。

翌平成2年、このバザーに参加した人々を中心に約80名が集まり、新潟国際ボランティアセンターが誕生。ラオスへの支援活動を中心に行ってきたが、平成6年度からは外国にばかり目を向けるのではなく、足元を見直す意味で、新潟市在住の留学生に対する国民健康保険支援を新潟市国際交流協会とともに取り組んでいる。

平成7年度には、ベトナムの市民団体、ホーチミン市婦人慈善協会との共同でベトナムにおける小学校建設とその運営支援を開始。これまでに6校の小学校が完成した。また、障害を持った大学生などを対象に奨学金プログラムやストリートチルドレンの支援も開始。そこで

育った子どもたちが将来のベトナムを担っていくことが期待されている。



▲ベトナムの小学校にて

■受賞後の活動

主な支援対象国ベトナムで、貧困層の大学生に対する奨学金事業、小学校支援事業、スタディツアー事業を展開してきた。

小学校は平成20年までに20校以上を建設。どれも最貧困地域にあって条件の悪いところばかりである。最初の小学校には電気を引いたところ、早朝には昼間働くために学校に来られない子ども向けの授業が、夜間には読み書きを知らない大人たちに読み方を教える授業が自発的に行われるようになった。

平成27年からは新たに孤児院で暮らす女兒たちの自立を目指したフェアトレード事業を開始し、ベトナムにおける活動を広げている。

また、国内拠点である新潟においても、地球規模の課題を学ぶ啓発講座の開催、チャリティバザーなどさまざまな活動を展開している。

■主な受賞歴

○平成27年 第8回かめのり賞